

貧酸素水塊速報 (2017年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】○ 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 ○ 東京都環境局
 (国) 国立環境研究所
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成29年8月1～2日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部の千葉県側を中心に広く分布しています(図1)。特に千葉～袖ヶ浦沖では、沿岸付近まで波及しています。海底付近には無酸素水があり、予報では北東～東の風が8月5日(土)にかけて続くことから、今後これらの海域では青潮の発生に注意が必要です。

中心が東に寄っているため、前回(7月18日)に比べ、縦断ラインの貧酸素水塊は薄くなり、規模も縮小しています(図2, 3)。

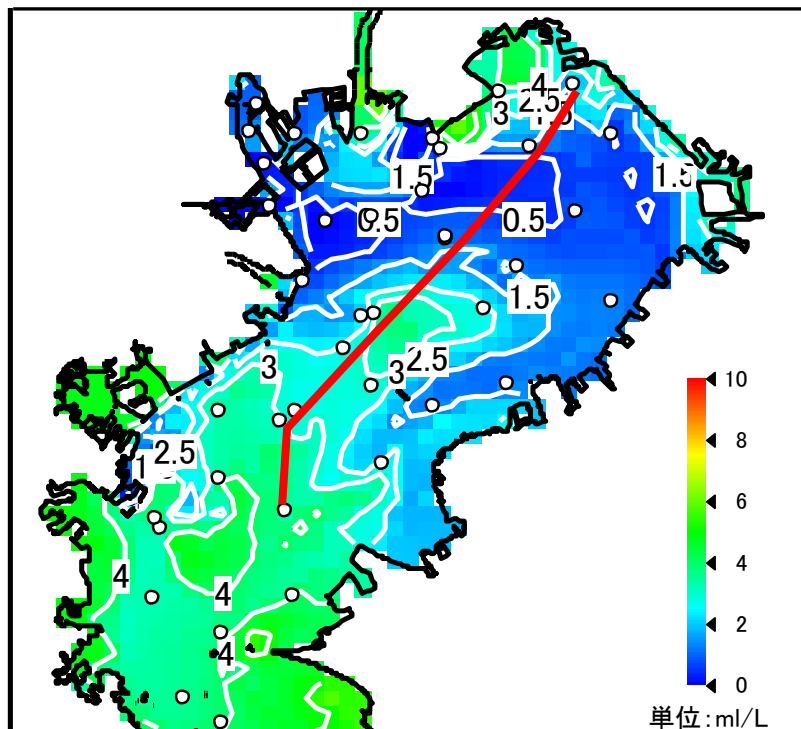


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

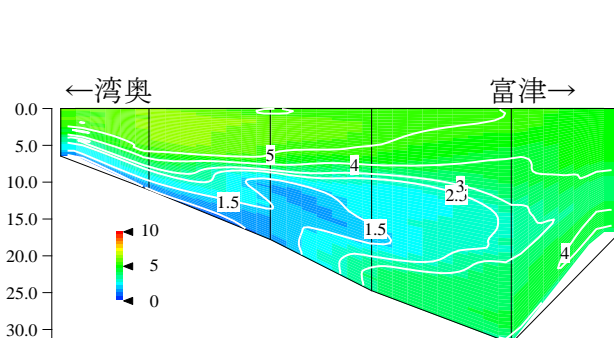


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

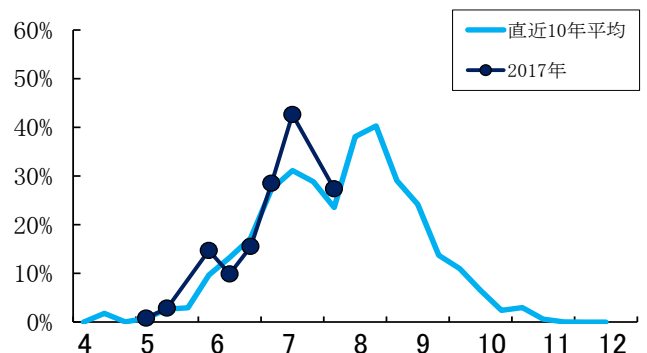


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)